代表質疑

3月4日の本会議で、各会派の代表者10人が令和7年度予算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。（会派名は質疑時点）

市民の暮らしを守り応援する役割を果たせ

日本共産党　大城　美幸　幹事長

議員　物価高騰で大変な状況にあるのは低所得者だけではない。市税の増分や地方創生交付金等を活用して全市民を対象に水道料金または住民税の引き下げを行うべきだ。所見を伺う。

市長　今後の財政運営を見据えると、それらを引き下げても少額で効果も限定的なものとならざるを得ず、引き下げは考えていない。

議員　これまで2年ごとに引き上げを行ってきた国保税を、なぜ昨年に連続して引き上げるのか。

市長　令和8年度からの子ども・子育て支援金の負担増を想定し、国保加入者の負担急増を緩和するため段階的な改定を行うものだ。

議員　天文台のまちづくりは学校統廃合の計画であるにもかかわらず議論が不十分だ。市民への説明と合意形成が不可欠であり整備計画の策定は延期すべきだ。

市長　同まちづくりは学校統廃合が目的ではない。引き続き、義務教育学校の在り方も含め議会や市民へ丁寧に説明し、計画策定に向けて進めていく。

議員　施政方針の冒頭に「祈る平和」と「創る平和」、共に進める三鷹を掲げている。当該年度の平和記念式典に、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協を招待してはどうか。

第二副市長　式典の内容は市内協力団体との協議を踏まえて決定している。いただいた提案も含め丁寧に検討していきたい。

〈その他の質問〉地球温暖化対策／公契約条例の制定についてなど

市民の声に耳を傾け ともに歩む市政を

きらりいのちをめざす市民派・無所属・れいわ　野村　羊子　幹事長

議員　当該年度、子どもや認知症の人の人権条例を策定する。人権政策においては、誰もが差別をする側になりかねないことを前提に、どのように当事者たちと向き合い、政策を進めていくのか。

市長　市が条例をつくることが、差別の現実を行政が理解し、市民にも共通項として理解してもらうための一歩だと思っている。

議員　井口特設グラウンド南側敷地を定期借地として民間医療機関へ50年間貸し出すが、定期借地法上では50年後、借手側は継続使用を主張できるはずだ。結果的に公有地を切り売りすることになるのではないか。

第三副市長　貸付期間満了時に土地を返還することを相互に確認の上、契約書に記述することとしている。

議員　義務教育学校の計画は学校統廃合ではないと説明しているが、学校設置条例から羽沢小、大沢台小、第七中が削除され、新たに義務教育学校が記載されることになるのではないか。

教育長　3校の廃止、新たな1校の設置という形になるものと考える。

議員　クラウドサービスの利用によるペーパーレス化にはシステム障害のリスクがある。公文書の保存はどうしていくのか。

DX推進担当部長　データのバックアップやシステムの冗長化等の対策とともに、個人情報等の適切な保護、管理に努めていく。

〈その他の質問〉「祈る平和」と「創る平和」についてなど

選択と集中の事業実施で持続可能な自治体経営を

自民クラブ　土屋けんいち　幹事長

議員　資材価格の上昇や労働力不足などが公共工事にも大きな影響を与えている。入札不成立の予防対策の取り組みを伺う。

都市整備部長　設計に当たり最新の積算基準等を使用するとともに、工事特性に応じた割増し基準の採用、発注時期の平準化、柔軟な工期設定等を行っていく。

議員　大沢地区の災害時要配慮者等が一時的な避難所として、浸水想定区域外かつ近隣の高台に立地する福祉Ｌａｂｏどんぐり山を活用することについて所見を伺う。

第二副市長　同施設については福祉避難所としての位置付けを検討しており、浸水時の避難所としてもしっかり検討していく。

議員　みたか地域ポイントを活用した市民の健康増進や商工振興の更なる拡充について所見を伺う。

DX推進担当部長　「タッタカくん！ウォーク＆ラン」アプリとの連携、利用可能な店舗拡充や現金チャージ機能の検討を進める。

みたか地域ポイントアプリのホーム画面（イメージ）

議員　私立幼稚園の経営は厳しい。かつて公立幼稚園を廃止し幼児教育を私立園に託した経緯を鑑み、幼稚園と保育園が共存する体制づくりを検討されたい。

子ども政策部長　今後、幼稚園、保育園ともに定員の空きの増が想定される中で、それぞれの良さを生かしながら運営維持のため、市の支援のほか国・都の補助制度も活用していく。

〈その他の質問〉農地確保／三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業についてなど

安心と希望に満ちた未来に向かう市政運営を

公明党　大倉あき子　幹事長

議員　物価高騰で苦境に立たされた市民や事業者を支援するため機動的な対応を迫られることが想定される。市独自の財源も適時活用して更なる対策を講じることも重要だ。所見を伺う。

企画部調整担当部長　状況を注視しながら国や都の対策を補完する市独自の対策を検討し、必要に応じて補正予算を編成するなど、機動的な対応を図っていく。

議員　定年後の地域貢献へ意欲はあるが地域とつながらない団塊世代が多いと考える。貴重な人材となる元気高齢者の社会参加と就労機会の創出について伺う。

健康福祉部長　高齢者が経験を生かし、地域社会を支える担い手としても活躍できる環境づくりを推進していく。

議員　未来の宝である若者が希望を抱ける社会の構築が重要だ。課題と方向性について伺う。

子ども政策部長　複雑化かつ多様化する環境に対応できる重層的な支援体制を整え、ニーズの把握、居場所づくり等に取り組む。

議員　三鷹駅前再開発については地権者の理解を前提に、商店街、地域団体、若い世代をはじめとした市民の意見を十分に反映することが重要だ。所見を伺う。

三鷹駅前再開発推進担当部長　施設計画案が定まった段階で、市民に広く意見を聞く機会を検討し、若い世代からも意見がもらえるよう工夫したい。

〈その他の質問〉非核・平和事業／孤立・孤独対策／脱炭素社会の実現についてなど

攻めと守りのバランスの取れた政策の展開を

立憲民主緑風会　谷口　敏也　幹事長

議員　三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業は、令和8年度の都市計画決定に向けて具体的な施設イメージを決める時期に来ている。にぎわいを創出する施設を整備すべきだ。所見を伺う。

市長　にぎわいを支え、次のまちづくりにつながる再開発を目指し、イベントホールが必要とも思うが市内にいくつもあるわけにはいかず、その整合性が課題だ。

議員　子どもの権利に関する条例（仮称）の制定に向けたアンケート調査で、子どもたちから多くの意見を集めることが重要だ。広報や案内はどうするのか。

子ども政策部長　市立学校の小・中学生は学校でタブレットから回答し、高校生にはＱＲコードを載せた案内はがきを郵送するほか、多世代交流センターなどでチラシを配布する。

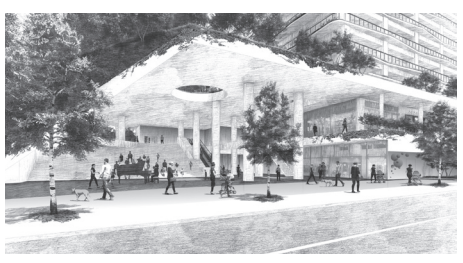
議員　学校給食費無償化で子育て支援に差が生じている。都の補助率が8分の7に引き上げられるのであれば、補助の差額で私立学校の子どもに給食費相当額を補助するべきではないか。

市長　物価高騰の中で財源を精査しなければ実施は難しいと考える。

議員　都の新規補助事業に、学校を活用した朝の子どもの居場所づくりなど本市が先行して取り組んでいる施策が複数見られる。これらを都の補助を活用して拡充すべきではないか。

教育部調整担当部長　今後、補助要綱等が示された時点で検討していきたい。

〈その他の質問〉防犯カメラ、街路灯についてなど



三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業では屋根付き広場の整備が検討されている

市民の不安の声を受け止め防災のまちづくりを

日本維新の会　中泉きよし　幹事長

議員　広報みたかに「予算案は、市議会でこれから審議される」旨の文言がなく、成案であるかのような記載は、議会軽視だと強く抗議の後、質疑に入る。令和6年第3回、第4回定例会で羽沢地区の防災対策に係る陳情は不採択となったが、当該内容を参考に対策を講じるべきではないか。

市長　同地域の要配慮者世帯の対応など切実な課題から取り組んでおり、陳情の件は中長期的な課題として真摯に受け止めている。

羽沢小移転ありきではない柔軟なまちづくりを

参政党　蛯澤　征剛　幹事長

議員　市長は羽沢小の水害対策について止水板設置の対応も可能であると明言した。そうであるならば老朽